



Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 24, 72-74
Issue Date	1998-02
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/26073">https://hdl.handle.net/2115/26073</a>
Type	other
File Information	24_P72-74.pdf



## 研 究 室 報

### 講義題目（1997年度）

独語学概論（1）	現代ドイツ語の構造	植木 迪子
独語学概論（2）	ドイツ語の歴史と方言	清水 誠
独文学史概説		石原 次郎
独語学	ドイツ語学の基本	植木 迪子
独語学	Landeskunde - Europa und das moderne Deutschland	Annedore Hänel
独語学	西ノルド語圏の言語・文化	森 信嘉
独文学	戦後ドイツ文学	山田 貞三
独文学	精神分析と文学研究	石澤 誠一
独文学	トーマス・マンと20世紀文学	鈴木 純一
独文学	Deutschland live	Martin Moser
独語学演習	言語接触と言語変化 - アフリカーンス語の構造 -	清水 誠
独語学演習	Sprachkurs-Deutsch	Annedore Hänel
独文学演習	テキスト読解	山田 貞三
独文学演習	文学をどうとらえるか	石原 次郎
独語学演習	ドイツ語における話し言葉と書き言葉	植木 迪子
独語学演習	ドイツ語歴史統語論	清水 誠
独語学演習	"Literarisches Deutschland (Ost)"	Annedore Hänel
	Zusammenhang von Politik-Literatur-Sprache	
独語学演習	"Erich Loest Die Nikolaikirche"	Annedore Hänel
	Die Sicht aus Deutschland (Ost)	
	in dem Roman und dem Film "Nikolaikirche"	
独文学演習	文学研究をめぐる諸問題	山田 貞三
独文学演習	Aufschreibesysteme	石原 次郎

## 研究室行事記録

◎ 1997年2月15日に北海道大学文学部202号室において1996年度卒業論文発表会が開かれた。

### <留学関係>

◎ 1997年8月に前原真吾氏がミュンヘン大学から留学を終え帰国した。

◎ 1997年8月に阿部和夫氏がミュンヘン大学へ留学のために出発した。

◎ 1997年8月に林 馨子氏がミュンヘン大学へ留学のために出発した。

☆ 1997年6月14日に年報の総会が行なわれ、会長選出、幹事選出等が行われた。

## 1996年度 論文題目

### 卒業論文

- 安達 哲哉 : ベストセラー作家のステータス形成について - '70年代後半のドイツ人作家の分析 -
- 小野 民外里 : ミヒャエル・エンデ; 『モモ』の諸相
- 小嶋 誠 : 作家活動に関する一考察 - ヴァイス=エンツェンスベルガー論争を  
題材に作家活動の形態とその社会的効用について -
- 小柳 みのり : ドイツ語における造語と品詞転換の関係
- 軍司 江利子 : Hans Henny Jahnn  
~ "13 nicht geheure Geschichten" 中の3つの物語について ~
- 高橋 薫子 : 解釈の根拠について - カフカの作品に対するアンケート
- 戸田 克己 : Peter Bichsel "Kindergeschichten" ~ 「文のしりとり」と「認識批判」~
- 山田 泰子 : ドイツ商法の表現形式の言語学的意味 - 話法の助動詞とその関連表現 -

## 北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
  - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
  - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

本会に賛助会員をおく。

### ☆ 執筆原稿規定

ページ数 : 13ページ程度。

1ページの文字数・行数は任意。ただし35行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで身分を明記する。

締め切り : 10月31日

## 会 員 名 簿

※青柳 謙二	○阿部 和夫	石川 克知	石橋 道大
石原 次郎	伊藤 祐紀子	岩井 洋	岩田 聡
◎植木 迪子	白渕 幸子	梅津 真	江口 豊
岡田 麻子	小川 了	荻原 達夫	小澤 幸夫
加藤 寛蔵	川島 淳夫	川東 雅樹	岸川 良蔵
佐藤 修子	佐藤 俊一	塩谷 幸子	清水 誠
神 久聡	鈴木 将史	○瀬野 晶子	高橋 修
高橋 吉文	田中 智美	田中 剛	対馬 晃
寺田 龍男	中川 勝昭	中 祢 勝美	名執 純子
名執 基樹	西川 智之	○林 馨子	藤本 純子
○前原 真吾	三浦 國泰	最上 英明	森田 一平
山田 恵子	山田 貞三	山田 義久	

◎は会長

○は幹事

※は賛助会員

### 独語独文学科研究年報 第24号

( Nenpo. Jahresbericht des Germanistischen Seminars der Hokkaido Universität )

1998年2月発行

発行者	北海道大学ドイツ語学・文学研究会
編集委員	阿部 和夫 瀬野 晶子 林 馨子 前原 真吾
連絡先	北海道大学文学部独語独文学研究室内 〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
印刷所	北大印刷